









白岡市環境基本計画リーディングプロジェクト進行管理シート

リーディングプロジェクト3

多くの市民が環境づくりにチャレンジする環境を学び行動する市民を増やそう！プロジェクト

令和3年度における関連する社会の出来事

低炭素社会から脱炭素社会の実現にチャレンジする脱炭素社会を実現しよう！プロジェクトを参照

■環境を学び行動する市民を増やすための取組

◆多様な主体、世代が学べる機会を充実させます！

環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」

令和3年度に実施したこと

評価

●ボランティア団体などと連携しながら、自然環境に関する学習会の開催など、学校教育や社会教育での学習機会の拡大を図ります。

(教育指導課)  
市内各学校での「みどりの学校ファーム」において、苗を植えたり、収穫したり等、自然に触れることで環境保全への理解を深めた。

各学校において、引き続き取り組む。  
また、小学生等が環境に親しむ機会作りを行い、市内に存在する自然を認知できるよう情報提供を行っていく。

(学び支援課)  
コロナ禍の影響により、例年開催している「田んぼの生き物観察会」は中止となったが、「夜の昆虫観察会(参加:8組20名)」、「秋の柴山沼観察(参加:12組29名)」などを開催した。

学び支援課の事業は一度きりではなく、季節ごとに経過を楽しみ学習できる工夫が凝らされている。自然とのふれあいを通じて、親子の絆づくりにも寄与している。  
令和3年度については、コロナ禍の影響で一部事業の実施はされなかったが、今後も学習機会の拡大に努める必要がある。

●保育所や児童館などにおいて、児童や親子向けの環境学習、体験学習などを実施します。

(子育て支援課)  
コロナにより規模を縮小したが、東児童館事業では幼児・小学生、子育て支援事業では乳幼児を対象にリサイクル素材を使った工作・遊びを行った。

幼児・児童、それぞれのライフステージに応じた環境学習に取り組んでいる。この時期における環境学習は、生涯にわたる環境保全意識を身に付ける基礎を培う役割を担っている。

●環境関連事業の実施や、学校の授業における環境関連の副読本の活用などにより、学年に応じた環境教育や意識啓発を推進します。

(教育指導課)  
市内各学校に対し、各種団体から送付される環境に係る通知等について、積極的に情報提供を行った。また、各教科及び総合的な学習の時間において、環境問題についてふれ、児童生徒への理解を深めた。

学校においては、発達段階に合わせ、学年に応じた環境教育が行われている。持続可能な社会づくりに貢献する人材育成のため、環境教育の重要性は高い。  
今後も充実に向けた取組が必要である。

●自然観察会や体験学習、各種環境関連の生涯学習講座等の実施、拡充を通じて、幅広い世代の市民に対する環境学習を促進するとともに、自然学習指導者や公園ボランティアなどの育成を図ります。

(環境課)  
例年幅広い世代の市民に参加をいただいている「夏の環境学習会」と、小学生親子を対象としている「親子エコスクール」はコロナ禍により中止となった。

環境問題への関心度を高めるための企画であり、幅広い分野の「環境」に関連する施設やテーマを検討して事業を開催しているが、令和3年度は開催予定日が緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間と重なったことから中止とした。  
なお、令和4年度については開催予定である。

●地球環境に負荷の少ない生活への転換を促進するため、「広報しらおか」やパンフレット等により情報を提供するとともに、学校教育や社会教育等の機会を捉えて、地球温暖化対策に関する啓発を進めます。

(環境課)  
令和3年4月9日、市は環境省が推進する省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動、「COOL CHOICE」に賛同する宣言をした。宣言後は地球温暖化対策に資する取組を推進するため、各種イベントや省エネ家電への買い替えを呼び掛けた。

各種事業で第2次白岡市環境基本計画の概要版を配布し、市民に環境への意識啓発を図った。また、クールチョイス事業の一環として、エコドライブ講習会、次世代自動車試乗会、小学生に楽しみながら温暖化について学んでもらう「コミックサイエンスショー」等を実施し、地球温暖化について考えてもらうきっかけ作りを提供できた。

◆市民、事業者に対する白岡市の環境行政への理解を深める機会をつくります！

環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」

令和3年度に実施したこと

評価

●「広報しらおか」やホームページ、教育・学習の場、イベントなど様々な場所と場面で、白岡市環境基本条例、白岡市環境基本計画を周知する機会を作ります。

エコドライブ講習会、次世代自動車試乗会など環境課が主催するイベントで計画の概要版を出席者に配布し、条例・計画の周知を図った。

白岡まつりなど各種イベントにおいて環境課のブースを出展し、条例・計画の周知を図る予定であったが、コロナ禍により年度の前半については多くの事業が中止となり、周知できなかった。しかしながら、秋以降はエコドライブ講習会、次世代自動車試乗会等の環境課主催の各種イベント参加者に計画の概要版を配布し、条例と計画の周知を図ることができた。

■「市民・事業者」の取組

環境基本計画で定めた「市民・事業者」の取組の例

令和3年度に実施したこと

評価

【市民の取組の例】  
●グリーンツーリズムなどのエコツアーに参加し、環境について楽しみながら学べる機会を多く持ちましょう。  
●自然観察会や環境学習の機会に関心を持ち、参加しましょう。  
●家庭において、環境について話し合う機会を設け、一緒に考えましょう。

自然観察関連では「夜の昆虫観察会(参加:8組20名)」、「甲虫標本作り(参加:6組13名)」、「秋の柴山沼観察(参加:12組29名)」への市民の参加があった。  
また、学び支援課では「SDGs入門講座(参加:延べ48名)」を開催し、環境について学ぶ機会を設けた。

学び支援課における事業は、市民との連携により市民が参加する事業展開がされている。今後も市民が関心を持つ事業の展開が望まれる。  
一方で、市民との連携は見受けられるが、企業との連携はできていないことが今後の課題となる。

【事業者の取組の例】  
●市や地域における環境学習の機会などに参加するとともに、企業として協力しましょう。  
●事業所の環境への取組について、地域へ周知を図るため、事業所の見学会などを検討しましょう。  
●従業員に対して、環境保全に関する勉強会などを開催し、意識向上に努めましょう。

プロジェクトを推進するための数値目標

担当課

項目

基準  
令和元年度

令和2年度実績

令和3年度実績

令和4年度  
実績

令和5年度  
実績

令和6年度  
実績

令和7年度  
実績

中間目標  
令和7年度

目標  
令和12年度

環境課

環境学習会・講座累計参加者数

59人

0人  
コロナ禍により未実施

0人  
コロナ禍により未実施

350人

700人

教育指導課

市内小・中学校におけるSDGsをテーマにした環境学習の実施

32回

32回

73回

年間48回以上

年間80回以上

環境課

市民の白岡市環境基本条例の認知度  
(名前も内容も知っている)

2.3%  
(令和2年度調査時の認知度)

10.0%

15.0%

環境課

市民の白岡市環境基本計画の認知度  
(名前も内容も知っている)

3.1%  
(令和2年度調査時の認知度)

10.0%

15.0%

総括

◇多くの市民が環境づくりにチャレンジする環境を学び行動する市民を増やそう！プロジェクト

令和3年度は令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響で一部のイベントが中止となったが、規模を縮小するなどの対応をしつつ、各課において日常における環境問題に目を向ける取組として、環境保全行動を意識した事業が実施されている。  
学校教育においては前年度の倍以上の環境学習が実施されたほか、学年ごとにテーマを設け、広く環境に関心を寄せられる授業がなされている。 例)4年生→ゴミの分別、5年生→公害問題、6年生→地球温暖化  
また、学び支援課では、「夜の昆虫観察会」「秋の柴山沼観察」など、季節に応じた環境教育、環境学習の充実に取り組んでいる。